

平成24年2月定例会

議案説明資料
補足資料

(平成24年度当初予算関係)

商工労働部

特急スーパーはくと車内販売実験の区間延長の検討について
(観光物産車内PR販売テスト事業)

平成24年3月15日
 市場開拓課

平成24年度「観光物産車内PR販売テスト事業」におけるスーパーはくと車内での観光PR・物産販売について実施区間等を検討した結果、以下のとおり取扱いたいと考えています。

1 検討状況

現在、智頭～上郡間で想定している乗車区間を、鳥取～京都間に区間延長する場合の所要経費、課題等について、JR関連会社等からの聞き取り、人員配置計画のシミュレーション等により検討。

(1) 所要経費の比較表

○観光物産のPR販売実証のためのテスト事業という位置づけであり、運行全便に乗車する前提で試算

科目	現計 予算案	区間延長 時の概算 必要経費	比較	積算根拠
人件費	(千円) 4,323	(千円) 14,731	(千円) 10,408	・現計予算案：智頭-上郡間 4名分 ・区間延長した場合：10名分、京都宿泊費
PR経費	480	480	0	試食経費
効果検証経費	420	420	0	回答用はがき作成費、プレゼント経費等
その他事務費等	560	1,470	910	販売用ワゴン代、ワゴン装飾経費、ユニフォーム代等
合計	5,783	17,101	11,318	

※この他に、13車両に車内準備室を設置する車両改修経費（一般財源）が必要となる。

(2) 経費増の主な要因

○全便で営業する場合、ローテーション、休暇等を考えると、最低10名程度の販売員が必要となる。

また、JR京都駅での商品保管場所確保、一部販売員の京都宿泊経費等が発生

○区間が延長されることにより、荷の保管・販売員の休憩のため車内準備室を準備する必要があり、そのための13車両の改修が必要となる。（雇用基金対象外経費となり一般財源での対応要）

※車内販売廃止により車内準備室→喫煙室に改装した際は3,000万円の経費（智頭急行）

2 検討結果

○鳥取～京都間の運行は経費増が多いため、原案どおり智頭～上郡間でのテスト販売としたい。

○また、商品仕入・販売部分については食品衛生面等でノウハウのある事業者に（株）智頭急行から再委託することも含め、取扱商品の選定、衛生管理等について関係者の意見を良く聞きながら実施したい。

(参考) 現時点の予算案内容（緊急雇用創出事業）

- ・ 特急スーパーはくと内で県産品の車内販売及び観光PRを行う。（委託先：（株）智頭急行想定）
- ・ 車内販売等の運行区間は智頭～上郡区間で、全便でPR販売を行い（7月～12月）効果を検証。
- ・ 荷物の積み込みは、鳥取駅で行う。
- ・ 販売員としての新規雇用 4名。